

2) 地区別の緑地の現況

(1) 名瀬地区

- ・小宿先海域に国定公園があります。(海中公園地区、普通地域)(写真①)
- ・中心市街地や住宅地をとり囲む山地樹林・農地は区域内の約8割で身近な自然が多く見られます。(スダジイ林・リュウキュウマツ林)(写真②～⑥)
- ・総合公園、運動公園の利用性は高く、親しまれていますが、施設の老朽化、利用性の不備などが見られます。(写真⑦,⑧)
- ・用途地域内には、街区公園、近隣公園が計画的に配置されており、公園面積の標準値は満足していますが、施設の老朽化が目立ち、安全性の課題等もあります。(写真⑨,⑩)
- ・幹線道路は街路樹が整備されていますが、景観性や緑量の検討も必要です。(写真⑪,⑫)
- ・住宅地内は、生垣や庭がつくられています、特に古い住宅地内の生垣は良く手入れされ景観は良好です。(写真⑬～⑯)
- ・市街地内には、学校校庭や河川沿いに巨木等の緑や保存樹、神社の緑が見られますが、街中には面的な緑は少ない状況です。(写真⑰～⑳)
- ・港湾内には緑地が整備されていますが、潮風等の影響を受けやすく、生育の悪い緑も見られます。(写真㉓,㉔)
- ・中小河川沿いは、有屋川のように景観や環境への配慮がなされた箇所もあります。(写真㉕,㉖)
- ・下方地区や古見方地区には、昔ながらの生活の場であった里地・里山の風景が残っています。(写真㉗,㉘)



①小宿先海域と優れた植生のある摺古崎



②都市の骨格をつくる背後の山地森林



③小学校背後の自然性の高い身近な緑



④身近な緑の中の保存樹
らんかん山の琉球松



⑤ 市街地を囲む山林の緑
スタジイ二次林、リュウキュウマツ林



⑥



⑦ 広場の改修が望まれる入口部

自然に囲まれた
運動公園
名瀬



⑧ 老朽化が目立つ運動施設



⑨ みどり公園

老朽化し、バリア
フリー化されて
いない街区公園



⑩ はとばま公園



⑪ 鳩浜 ビロウ

幹線道路の街路樹



⑫ 古見本通り・リュウキュウコクタン



⑬ 大熊 リュウキュウコクタン

住宅地の街路樹



⑭ 有屋 ヤマモモ

住宅地の緑



⑮ 良好な生垣景観（朝仁）



⑯ 新興住宅の生垣・庭



⑰ 朝日小学校の緑



⑱ 奄美小学校の緑



⑲ 保存樹の巨木（永田川沿い）



⑳ 文化財の緑（朝仁貝塚）



㉑ 高千穂神社の緑



㉒ 有盛神社の緑（天然記念物）



㉓ 近隣公園として親しまれている
長浜みなと公園

港湾緑地の緑



㉔ 潮風による生育不良が見られる



㉕ 有屋川

中小河川の景観



㉖ 有屋川沿いの緑道



㉗ 里の耕作地（段畑等）

農地の景観



㉘ 古見方（前勝）の耕作地

図 名瀬地区緑地の現況分布図

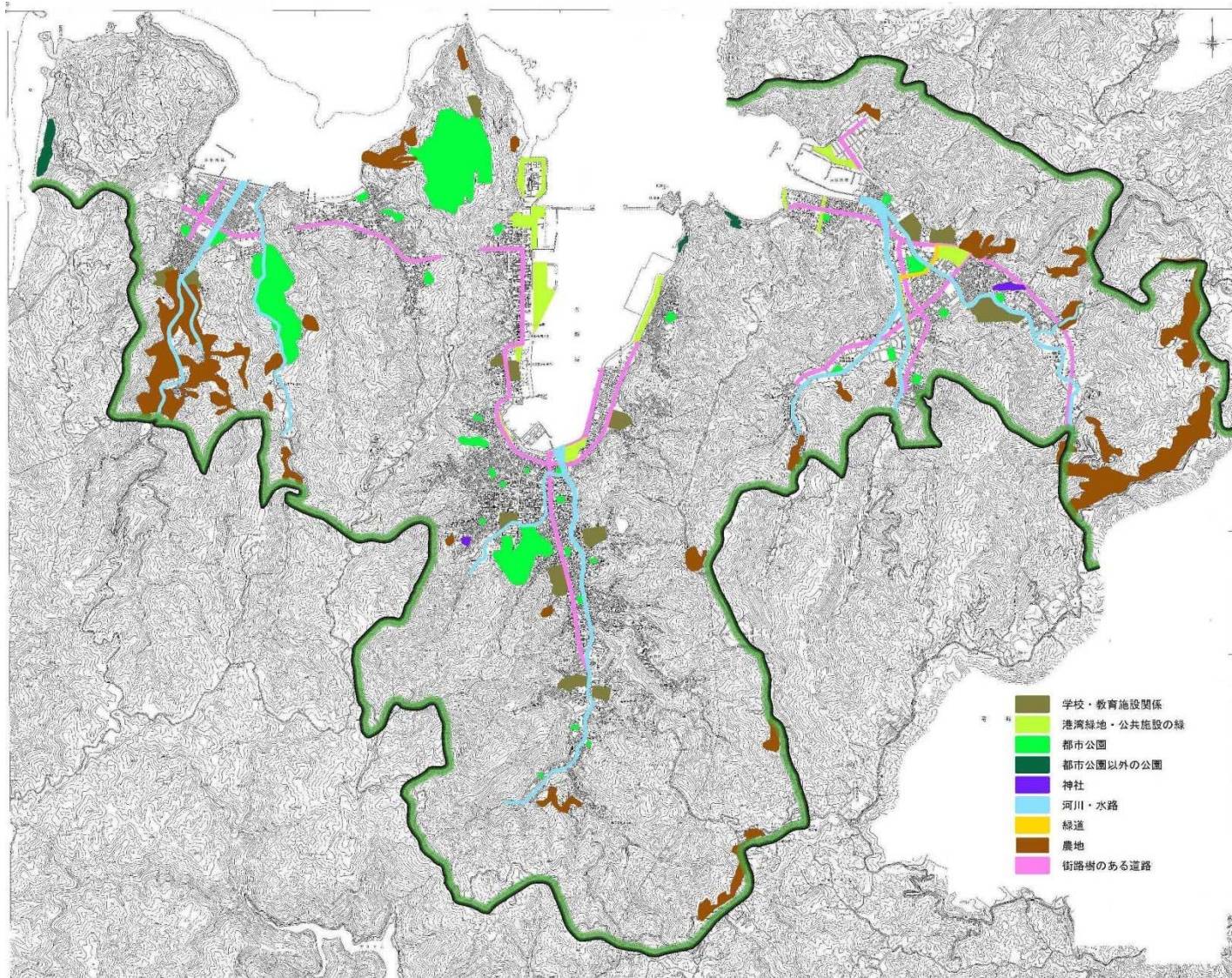
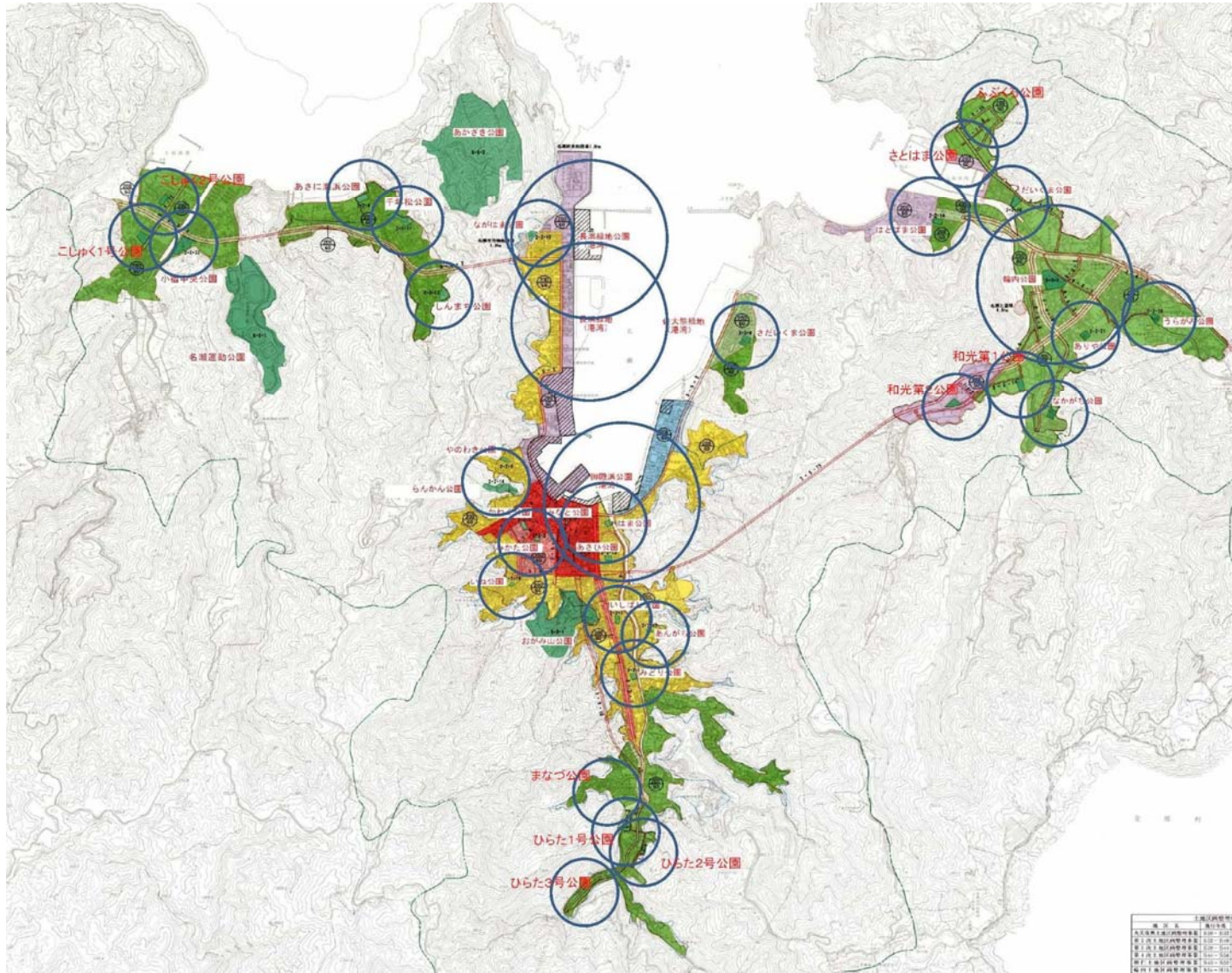
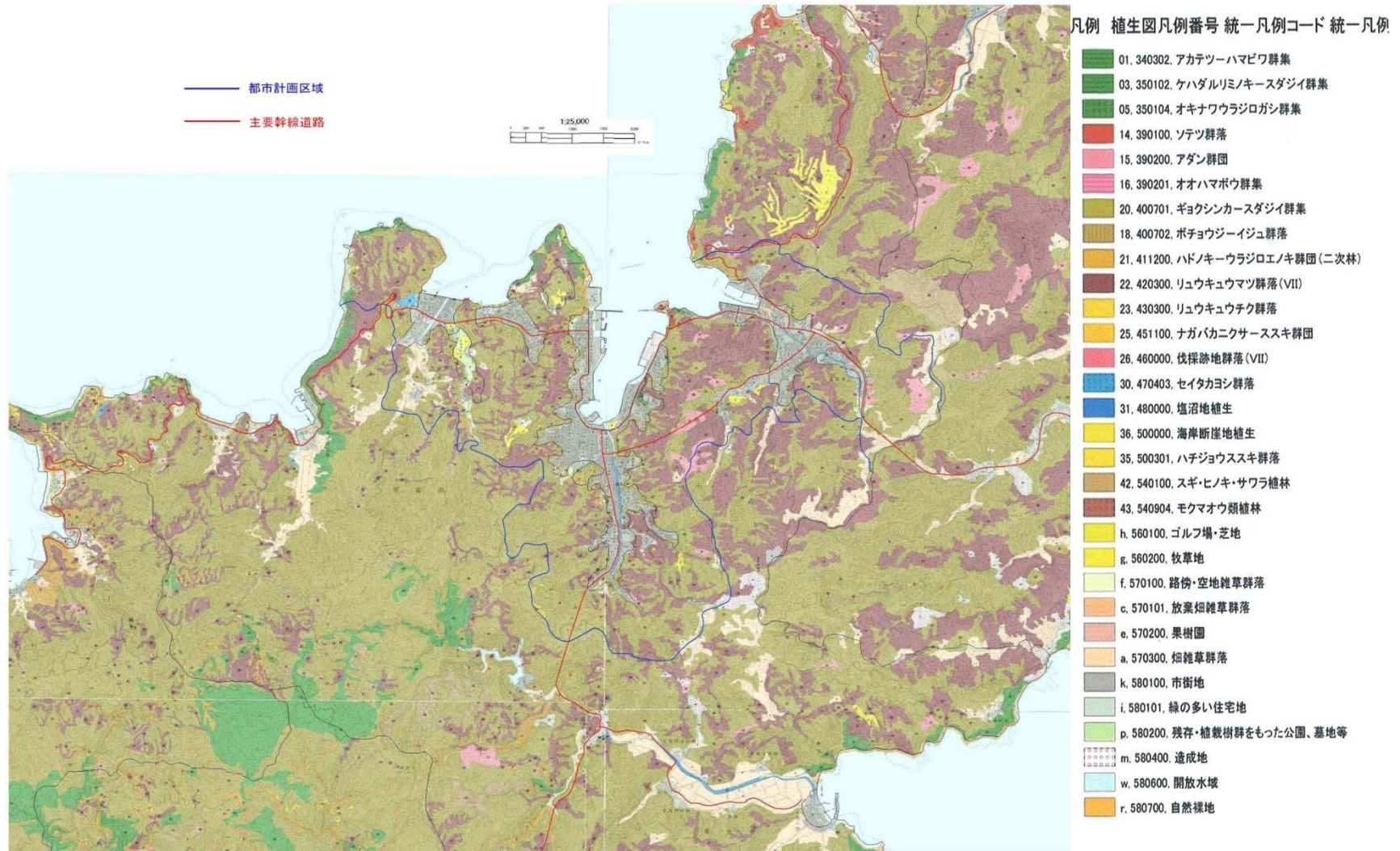


図 都市公園分布状況



都市公園			
番号	種別	公園名	面積
1	総合	おがみ山公園	11.00 ha
2	総合	あかさき公園	7.61 ha
3	運動	名瀬運動公園	18.90 ha
4	近隣	輪内公園	1.60 ha
5	街区	みなと公園	0.05 ha
6	街区	かねく公園	0.16 ha
7	街区	みかた公園	0.10 ha
8	街区	はま公園	0.14 ha
9	街区	みどり公園	0.15 ha
10	街区	あさに海浜公園	0.31 ha
11	街区	いしばし公園	0.17 ha
12	街区	さだいくま公園	0.37 ha
13	街区	やのわき公園	0.15 ha
14	街区	いね公園	0.11 ha
15	街区	千年松公園	0.43 ha
16	街区	しんまち公園	0.34 ha
17	街区	あさひ公園	0.19 ha
18	街区	はとばま公園	0.18 ha
19	街区	ながはま公園	0.34 ha
20	街区	だいくま公園	0.31 ha
21	街区	あながち公園	0.11 ha
22	街区	らんかん公園	0.89 ha
23	街区	なががち公園	0.26 ha
24	街区	うらがみ公園	0.25 ha
25	街区	ありや公園	0.26 ha
26	街区	小宿中央公園	0.88 ha
27	街区	ひらた1号公園	0.10 ha
28	街区	ひらた2号公園	0.05 ha
29	街区	ひらた3号公園	0.05 ha
30	街区	こしゆく第1公園	0.43 ha
31	街区	こしゆく第2公園	0.25 ha
32	街区	和光第1公園	0.33 ha
33	街区	和光第2公園	0.33 ha
34	街区	まなづ公園	0.02 ha
35	緑地	鳩浜緑地	0.30 ha
36	緑地	小浜緑地	0.12 ha
37	緑地	長浜緑地	0.09 ha
38	緑地	佐大熊緑地	0.12 ha
39	緑地	大熊緑地	0.09 ha
40	緑地	小宿緑地	0.92 ha
41	近隣	長浜緑地公園	0.96 ha
42	近隣	御殿浜公園	1.56 ha
43	街区	さとはま公園	0.15 ha
44	近隣	長浜みなと公園	2.02 ha
45	緑地	佐大熊緑地公園	1.42 ha
46	街区	ふぶくろ公園	0.15 ha
合計			54.72 ha

図 名瀬地区植生図



出典) 環境省 平成 21 年発行 第 6 回・第 7 回植生調査による

(2) 住用地区

- ・ 緑豊かな森林と清流があり、山地樹林と農地（耕地率 1.1%）は地区内の約 9.5 割で自然性が高い地域です。（写真①,②）
- ・ 西仲間のマングローブ原生林は、国立公園の特別保護地区に指定されています。
（写真③,④）
- ・ 公園施設は、黒潮の森マングローブパークや内海公園がありますが、観光拠点施設的要求が高く、住民の身近な公園施設は少ない状況です。（写真⑤,⑥）
- ・ 国道 58 号和瀬バイパス（朝戸～和瀬）は、エコロードとして自然に配慮した整備がなされ、周りの森林と一体の景観が楽しめます。また、路傍植栽などの緑地が所々に整備されています。（写真⑦～⑩）
- ・ 集落毎に屋敷林が多く見られ、其々の集落景観を形成しています。（写真⑪,⑫）
- ・ 住居の生垣にも地域性のある樹種が多く見られ、幹線道路沿いは良く管理されています。
（写真⑬,⑭）



①住用川と上流域の森林



②マングローブ原生林



③マングローブパーク
スミヨウガーデン



④マングローブパーク案内図



⑤内海とタカバチ山の景観



⑥内海のメヒルギと体験交流館



⑦自然度の高いエコロード



⑧自然度の高いエコロード



⑨自然遷移の進んだスタジイ林



⑩果樹販売所の植栽 (亜熱帯性樹木)



⑪国道沿いの路傍植栽 ヒカンザクラ



⑫国道沿い民地の生垣修景

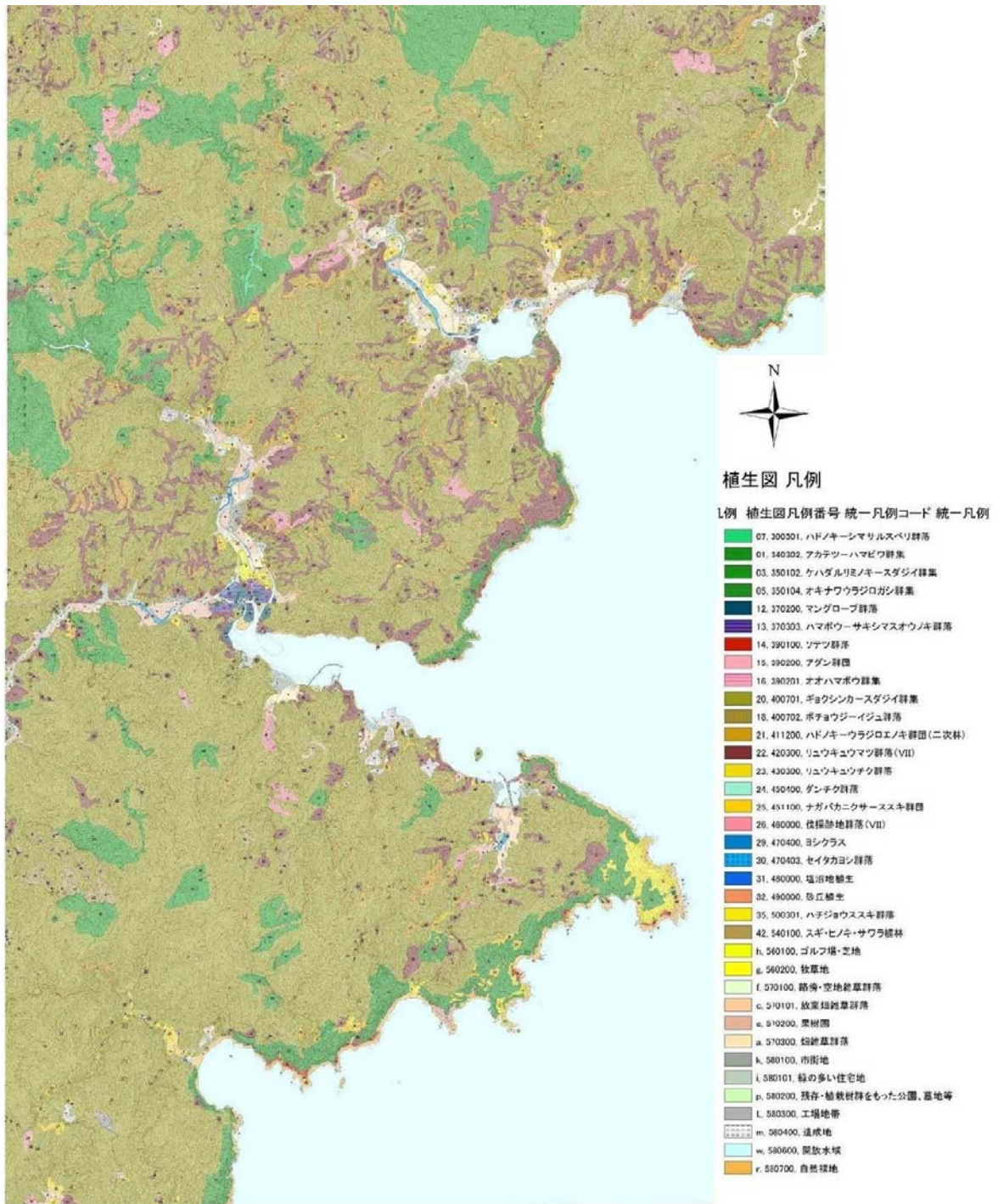


⑬自治会による緑地の管理 (見里)



⑭集落内のサクラ並木 (川内)

図 住用地区植生図



出典) 環境省 平成 21 年発行 第 6 回・第 7 回植生調査による

- ・地区の大半はスダジイ二次林（ギョクシンカ・スダジイ群落）で、リュウキュウマツ林は少ない分布です。
- ・住用川上流域（神屋）や川内川上流域に原生林（ケハダルリミノキ・スダジイ群落）が分散しています。